

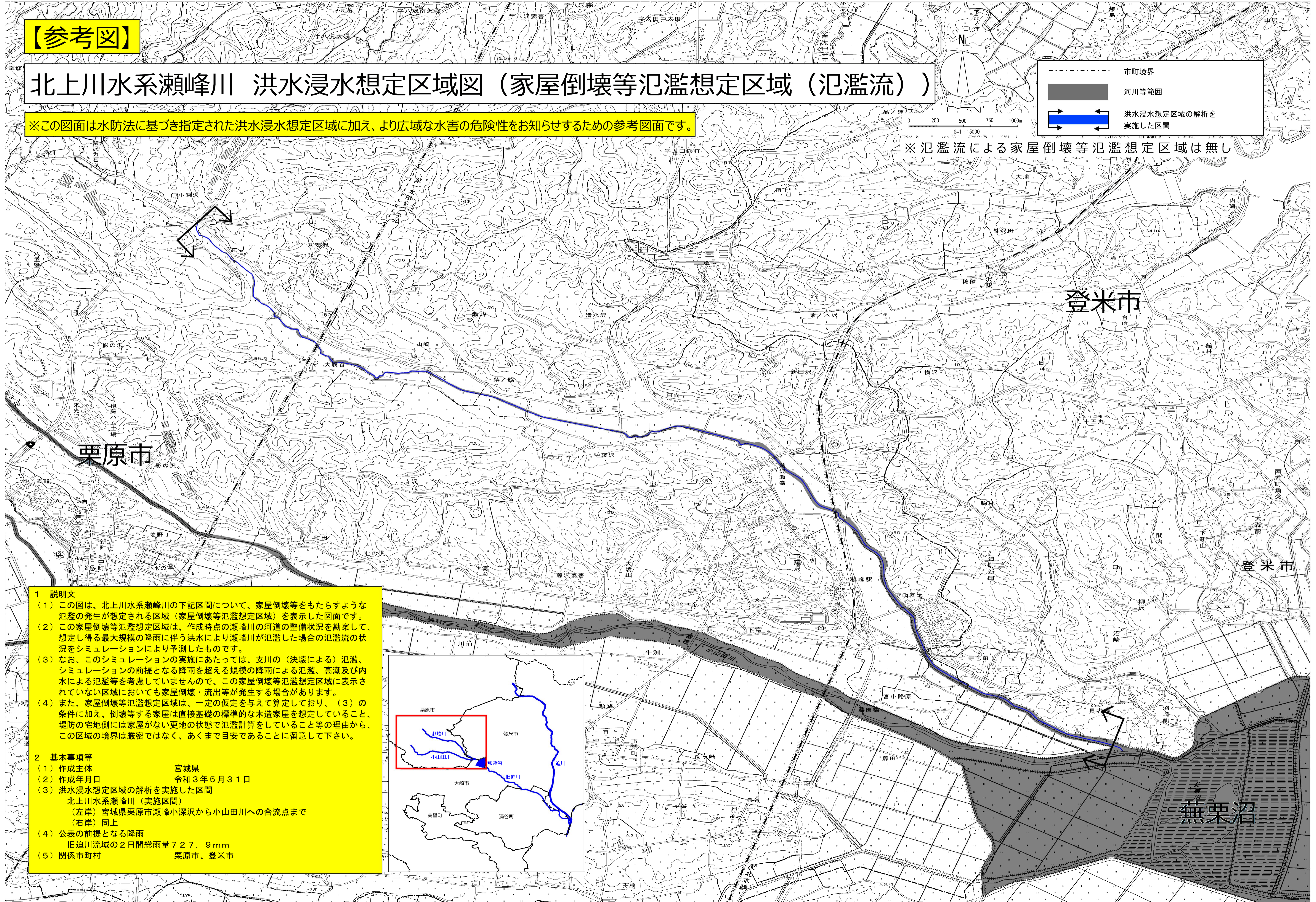
【参考図】

北上川水系瀬峰川 洪水浸水想定区域図（家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流））

※この図面は水防法に基づき指定された洪水浸水想定区域に加え、より広域な水害の危険性をお知らせするための参考図面です。

市町境界
河川等範囲
洪水浸水想定区域の解析を実施した区間

※氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域は無し



- 1 説明文
- (1) この図は、北上川水系瀬峰川の下記区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
 - (2) この家屋倒壊等氾濫想定区域は、作成時点の瀬峰川の河道の整備状況を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により瀬峰川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 - (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に表示されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
 - (4) また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 宮城県
 - (2) 作成年月日 令和3年5月31日
 - (3) 洪水浸水想定区域の解析を実施した区間
北上川水系瀬峰川（実施区間）
（左岸）宮城県栗原市瀬峰小深沢から小山田川への合流点まで
（右岸）同上
 - (4) 公表の前提となる降雨
旧迫川流域の2日間総雨量727.9mm
 - (5) 関係市町村 栗原市、登米市

